

ホタテ本操業開始

令和 8 年 5 月 29 日をもってホタテの漁場造成が終了し、6 月 1 日から本操業が始まりました。ホタテは北海道全域で減産が続いており、雄武町でも本年の計画数量を引き下げる等、漁業者にとって厳しい状況となっています。

雄武漁業協同組合では、作り育てる漁業に力を入れており、将来にわたって安定したホタテの水揚げが出来るよう取り組みを続けています。

ホタテを町民へ無料配布

5月30日、雄武漁協による町民向けのホタテ貝無料配布が行われました。町民への日頃の感謝を伝えようと平成 25 年度から実施しているものです。

配布されたホタテ貝は約 6.2 t。当日の朝、雄武漁港の養殖作業用施設において、漁協職員と漁業者、町職員により袋詰め作業が行われました。

今年も昨年同様に、殻付きのホタテ約 4kg と昆布醤油に加えて、北オホーツク農協から町へ寄附のあったバターとチーズも併せて配布されました。



お魚を増やす植樹運動

雄武漁業協同組合が主催する「お魚を殖やす植樹運動」が、6 月 2 日に雄武町幌内で開催されました。漁協女性部や漁業者、関係団体など約 100 名が参加しました。

オホーツク総合振興局産業振興部林務課の担当者から植樹指導を受けた後、参加者は高さ 20 cm 程のミズナラの苗木 500 本を 1 本ずつ丁寧に植えました。

平成 8 年から続くこの運動は、今年で 31 回目を迎え、植樹の本数は累計 27,000 本となっています。



ナマコ増養殖事業

漁港内で育成した稚ナマコの移植作業が6月12日に行われました。

雄武漁業協同組合では、資源増大を目指した取り組みとして稚ナマコの養殖活動を行っており、今年で12年目となります。

オホーツク海の栄養豊かな沖合で育ったナマコは約20cm程度の大きさになった後、漁獲され市場に卸されます。



第48回おうむ産業観光まつり

雨にも負けず開催！

第48回おうむ産業観光まつりが、6月27日（土）と28日（日）の2日間で開催され、町内外から約8千人が来場されました。

あいにくの雨模様となった前夜祭は、花火大会の直前で雨が収まり、約10分間にわたって色とりどりの花火が観客を魅了し、雄武に夏の始まりを感じさせてくれました！

本祭では、YOSAKOI 演舞や一輪車キッズのダンス、地元の食材を取り扱った競り市などの体験型イベントが訪れた観客を笑顔にし、今年の産業観光まつりも大盛況のうちに終了となりました。

※マリンビジョンとは？

活力ある水産業や漁村の将来像を実現するため、水産物の安定供給体制や環境保全と循環型社会の構築、漁村地域の総合的な振興を目指す将来ビジョンです。



【編集・発行】

雄武地域マリンビジョン事務局

【問い合わせ先】

雄武町役場 産業振興課 水産係

Tel : 0158-84-2121 Fax : 0158-84-2844

E-mail : suisan@town.oumu.hokkaido.jp